

要望事項（優先順位 葵4，松ヶ崎2）

第二疏水分線の堆積物の除去，流量確保及び不法投棄の取締り

**要 旨
（葵）**

松ヶ崎から下鴨にまたがる第二疏水分線のうち，松ヶ崎浄水場前から葵学区の泉川合流点（泉川橋）までの区間は流水量が少ないため土砂が著しく堆積しており，雑草が生えてさらに堆積する悪循環に陥っています。

松ヶ崎学区から令和元年～2年度の2箇年にわたり，水路内堆積物の除去等について学区要望が提出されており，建設局からは予算確保に努める旨の回答をいただいております。つきましては，葵学区においても，松ヶ崎浄水場前から葵学区泉川合流点までの区間の堆積土砂の浚渫工事の実施を要望します。

当該水路のうち，桜木橋から泉川橋に至る区間は特に堆積が進んでいる場所であり，堆積土砂の厚みが30cmから50cmに達しています。また，足を踏み入れることができないほど雑草が繁茂しています。このため，ヘドロの堆積も進み，悪臭の発生が年々ひどくなっており，気温の高い季節には，周辺の住宅では窓も開けられないほど臭気が漂います。生活環境改善の面でも堆積土砂の除去が必要です。

また，堆積したヘドロは，衛生害虫の発生源にもなっており，各種感染症を媒介する蚊の発生が懸念されます。国内では，蚊の発生源の放置が感染症の蔓延につながった事例がありますので，迅速な対応をお願いします。

（松ヶ崎）

松ヶ崎浄水場前から葵学区の泉川合流点までの区間は流水量が少ないため，兩岸の桜等の落ち葉が流されることなく堆積してヘドロ化し，そこに雑草が生い茂り，さらにヘドロが堆積するという悪循環に陥っています。

現在の第二疏水分線の水源は，松ヶ崎浄水場から排水される中間処理後の水及び検査用の上水と井出ヶ鼻井堰から取水された松ヶ崎農業用水路の一部が流入しておりますが，用水路の水量調整は松ヶ崎水利組合が管理されており，第二疏水分線には十分な水量が流入せず，ヘドロが堆積する要因ともなっています。

環境の改善，景観の保全のためにも水路内の浚渫の実施とともに松ヶ崎浄水場からの更なる流量の確保を要望します。

また，松ヶ崎浄水場前の放水口には，ビニール袋，ペットボトル，空き缶等のゴミが流れ着き，月2回のボランティアによる清掃においては，毎回30リットルのゴミ袋2～4袋のゴミを回収しています。中でも，医療用ゴム手袋が目につき，多いときには1回の清掃で20～30枚の手袋を回収しています。また，時折注射器も流れてきます。松ヶ崎地域の用水路は広域にわたるため，投棄者を特定することは困難だと思いますが，たとえ暗渠であっても，その水が疏水や下鴨神社に流れ込む用水であることを周知し，環境保全のためにもゴミや廃油等の投棄を防止する啓蒙活動を京都市が中心となって行うとともに，不法投棄の取締りを行っていただくよう，お願いいたします。

さらに、第二疏水分線に流入する水路が特定できていないため、農業用水を管理する部署とも連携し、松ヶ崎地区を流れる水路の調査を行っていただくよう要望します。

回 答 **(建設局)**

第二疏水分線の堆積物の除去については、過去に実施を試みたものの、沿道の方々等から浚渫の中止に係る要望書が提出されたため、これまで浚渫を実施することができませんでした。

改めて令和元年度から堆積物の浚渫について御要望いただいたことから、今年度は松ヶ崎浄水場前から泉柳橋までの間について実施する予定です。堆積物の除去等に当たっては沿道住民をはじめとする地域の皆様の御了解が不可欠であることから、地元への周知等について御協力をお願いいたします。

なお、泉柳橋以西の浚渫については、引き続き予算確保に努めてまいります。

本市の管理する河川、水路等におけるゴミや不法投棄については、左京土木事務所で対応させていただきますので、御連絡ください。医療関係器具の対応については、関係機関と対応について協議を進めています。今後もこうしたゴミが不法投棄され続けている場合には、お手数ですが、左京土木事務所まで御連絡をお願いいたします。

また、ゴミや不法投棄の削減に向けて、啓発看板の設置等について検討してまいります。

(上下水道局)

松ヶ崎浄水場から第二疏水分線への放水については、現在、雨水と浄水処理水等を1日当たり80m³放流しています。

過去には、琵琶湖疏水から取り入れた水道の原水の一部を放流していましたが、近年は、琵琶湖の水質の影響により、「かび臭」や「生ぐさ臭」が発生することが多く、これらの臭気を除去するために、松ヶ崎浄水場に至るまでの原水に、粉末活性炭を投入しています。粉末活性炭を含んだ原水を第二疏水分線に放流することは、環境保全の観点から難しく、更なる放流は困難であると考えております。

(産業観光局)

農業用水を利用されている松ヶ崎水利組合の協力をいただき、第二疏水分線へ流出する農業用水路の調査を行い、関係部署との情報共有を行います。

地図

